

## スティックに夢を込めて

プロミュージシャン

勢喜 遊さん



## Profile

せき ゆう (23歳・富岡町出身・東京都在住)

1992年9月2日生。ロックバンド「輝&輝バンド」、「Srv.Vinci」のドラマーとして活躍中。「Srv.Vinci」は11月23日にclub GRINDH OUSE (徳島市) でライブ開催決定。オフはスケートボードを楽しんだり、映画を鑑賞している。尊敬する人はプロミュージシャンの西慎嗣さん。

## 夢舞台

11月22日、大塚ヴェガホール(徳島市川内町)でライブ演奏を行う「輝&輝バンド」。津軽三味線やピアノ、ベース、ドラムで構成する若さ溢れるエネルギーが特徴的なサウンドが魅力的なバンドだ。そこでドラマーとして活躍しているのが勢喜 遊さん。地元徳島での凱旋演奏に、いやがうえにもスティックを持つ手に力が入る。

## はじまり

勢喜さんにとって、小さい頃から音楽は身近な存在だった。両親は仕事の傍ら地元ラ

イブハウスで演奏するなど音楽活動を行っており、自然な流れで音楽に親しんだ。

小学4年生のときに、ダンススクールに入った。音楽に合わせて夢中で踊っているうちに自然とリズム感が身についたそう。「阿南の夏まつりのステージでは、たくさんのお客様の前で一人で踊りました。度胸ができましたよ」と話す。お父さんの之彦さんは「小さい頃から熱中する子どもでした。何かをやり始めると延々と続けていました」と笑う。

中学校に入ると吹奏楽部でパーカッションを担当。打楽器の魅力にとりつかれ、高校では、バンド活動に明け暮れた。彼の隣にはいつも音楽があった。

## 東京へ

高校を卒業するとき、これから進んでいく道に悩んだが、之彦さんが「音楽がしたいんだろ。早く東京に行きなよ」と声をかけてくれた。

そういう之彦さんも若い頃ミュージシャンを夢みて東京に打って出た経験がある。26歳で諦めて徳島に帰ってきたが、「自分の夢を息子に託したい」と背中を押したのだ。父親の夢を追うように東京に向かった。あるのは、スティックと熱いハートだけだ。



(写真：ライブ会場で声援を受ける勢喜 遊さん)

東京では、アルバイトをしながら必死でもがいて生きてきた。

知らない土地に来て人とのつながりの大切さを思い知った。中学生のとき出会った阿南市在住のプロミュージシャン・西 慎嗣さんからいろいろな有名なミュージシャンを紹介してもらった。その中で、ドラマーとしての実力を徐々に認められ、未来を切り開いてきた。

## これから

「バンドや音楽という枠だけにとらわれず、1人の人間として評価されたいですね。世界で通用するミュージシャンになりたいと思います。そのために今、英語を勉強しているんですよ」と目を輝かせた。

若者の目の前には大きな可能性と言う海原が広がっている。夢物語はこれからも続いていく。